

三条北ロータリークラブ週報

No.27



フランチェスコ・アレツォ RI 会長
 第 2560 地区：室賀信宏ガバナー
 三条北 RC：羽賀一真 会長

「よいことのために手を取りあおう」
 ～UNITE FOR GOOD～
 「ロータリーで善の循環を」
 「初心にかえって新しいことへの挑戦」



会長：羽賀一真 幹事：森 宏 SAA：齋藤孝之輔

●例会日：火曜日 12：30～13：30 ●例会場：三条ロイヤルホテル Tel 0256-34-8111

- ◆本日の行事：「三条市内 4 RC 合同夜例会」
- ◆本日の出席：4 RC 80名
 三条北 RC：45名中26名(内記帳3名)
- ◆先々回の出席率：45名中32名 71.11%
 (前年同期 83.33%)
- ◆本日のゲスト：
 第 2560 地区
 ガバナーエレクト 富山 洋 様(雪国魚沼 RC)
 第 4 分区ガバナー補佐 青柳 修次 様(燕 RC)
 次年度 第 4 分区ガバナー補佐 長澤 敬一 様(加茂 RC)

- ◆先週のメイクアップ(敬称略)：
 3/4-5 ライラ研修 石川一昭
 研修生 太田 凱斗 (三之町病院)
 大久保沙野 (三之町病院)
- 3/7 米山記念奨学生終了式 野崎喜嗣
 奨学生 ペレス エレラ,アンドレア
- 3/9 三条南 RC 石川勝行、樋口 勤
- 3/11 三条 RC 石川勝行

会長挨拶：栗山正男 会長(三条東 RC)



みなさん、こんばんは。今年度市内ロータリー幹事クラブの三条東クラブの栗山でございます。

本日はご多用の折、多数お集まりいただきましてありがとうございます。また、急な会場変更がありましたことこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

また、富山ガバナーエレクト、青柳ガバナー補佐、長澤ガバナー補佐エレクトからもご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

コロナ禍等により、久方ぶりの4クラブ合同例会となります。普段ですと、昼例会をやっていたと思いますが、会長幹事会の話し合いの中で、夜一杯やったらどうだという意見が上がりました。同じクラブのメンバーであれば、普段接しているのわかりますが、他クラブですと、あの人見たことあるけどどのクラブらるかねという人もある

うかと思えますし、あの人いつロータリーに入ったんだろかねいう人もあるかと思えます。そこで、他クラブとの交流を活発化しようという試みです。ですから、皆さんの席も、今年度・次年度会長を除いて、完全にじ引き制にして、クラブを偏らないようにさせていただきました。

そして、前年度あたりから、『ラーニング』というワードをよく聞くようになり、関川さんが地区内で啓蒙・普及のため、地区全体を駆け巡って頂いていますが、さて具体的に言えるまでになってはいないのではないのでしょうか。

そこで、本日は、富山ガバナーエレクトから『ラーニング』についてのご説明と次年度における取り組み等を卓話していただこうと考えております。

限られた時間ではございますが、大いに学んで大いに交流を図って頂けますれば幸いです。本日は宜しくお願い申し上げます。

ロータリー財団 BOX

343,000円

米山奨学 BOX

279,200円

スマイル BOX

3月12日現在累計 796,000円

- 落合 益夫 君 ご指導よろしく申し上げます。
- 武田 恒夫 君 本日はよろしく申し上げます。
- 長谷川哲昌 君 本日はよろしく申し上げます。





「ロータリーにおけるラーニングの重要性と次年度の展望」

第 2560 地区ガバナーエレクト 富山 洋 様 (雪国魚沼 RC)

(以下、パワーポイントスライドの文字原稿です)

自己紹介

富山 洋 (とやま ひろし)

生年月日: 1961年8月24日 64歳
住 所: 新潟県南魚沼市宮466番地1 (旧六日町)
最終学歴: 中小企業大学校三条校卒業 (経営管理者養成コース3期生)
ロータリークラブ歴
入会: 2002年7月1日 第6分区雪国魚沼RC (2026年3月現在会員25名うち女性2名)
2004-05年 社会奉仕委員長
2006-07年 幹事
2007-08年 会員増強委員長
2008-09年 クラブ会長
2011-12年 S A A
2013-14年 職業奉仕委員長
2018-19年 クラブ会長
2021-22年 幹事
2022-23年 第6分区ガバナー補佐
2023-24年 S A A



Rotary 第2560地区

ラーニングとトレーニング?

ラーニング

スキルや能力を高め、様々な状況下でそれを活用するために、

「その情報を吸収するプロセスのことである。」

トレーニング

受講者を指導するやり方で、音声や文字、その他の実演方法を通じて

「情報や知識を与えることである。」

知識は AI が憶えてくれる、

憶えている人に聞けばいい

情報や知識をどう活かしていけるか

ロータリーのためだけではない

リーダー (経営者) としての資質を学ぶ

121 年続くロータリークラブ

企業に置き換えると見えてくるものがある

- ・不変の理念
- ・存在価値
- ・時代の変化に対応
- ・世代交代

ラーニングセンターの活用

実際にやってみよう

MyRotary アカウント登録率 80%以上

富山年度の展望

国際ロータリー会長

オンラインカ・ハキーム・ババロラ 氏

(ナイジェリア・リバーズ州 トランス・アマディ RC)



2026-27年度国際ロータリー会長メッセージ

CREATE LASTING IMPACT

持続可能な
インパクトを
生み出そう

Rotary

「インパクトある活動」と

「世界をオープンに受け入れる」

- ・「ロータリーは私たちを変えました
私たちという人間を形づくり、より良い人間にしてくれたのです」
- ・私たちは“世界を変える”ことをよく話題にします
ポリオ根絶や平和構築について語ります
しかし、「ロータリーが自分自身をどう変えたかについては、あまり考えません」
- ・ロータリー会員である私たちは、「より良い未来というビジョンを共有しています」
そのビジョンを現実にするには、「自身の内なる変化を意識し、解き放たなければなりません」
- ・「成果だけでなく、インパクトを重視すべきです」

「変化は始まりに過ぎません。

インパクトこそが永続するのです」

インパクトを理解する

南アフリカ・ナイズナでの幼児教育の拡充や、ナイジェリアでの妊産婦ケアの改善など、ロータリー会員がインパクトを生み出していると述べました。ナイズナ・ロータリークラブは、地域の女性たちが幼児教育センターを開設・運営できるよう支援しました。

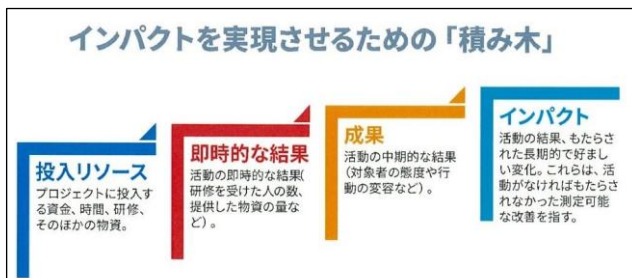
「このプロジェクトは何千もの子どもと家庭に恩恵をもたらし、今後何世代にもわたって教育を提供し続けるでしょう」

「このインパクトを世界のほかの地域でも再現できれば、地域社会から信頼と評価を得ることができます。そして、より多くの地域社会がロータリーを信頼すれば、入会したいという人が増えます」

ロータリーが介入する前は、多くの女性が妊婦健診を避けていました。

しかし、健診は母子ともに安全な出産に欠かせません。ロータリーの支援により、妊婦が健診に通うシステムが整い、地域社会からの協力も得られました。受診率がアップし、死亡率が下がりました。

「このプロジェクトは今後数十年にわたり、ナイジェリア全土で命を救い続けるでしょう」



より歓迎的な姿勢を

クラブの新しい入会者に対してよりオープンに歓迎しましょう

ローターアクト時代にロータリークラブに入りたいと思ったものの、クラブ会長から冷たい対応を受けた自身の経験について語りました。

「彼(クラブ会長)はこう言いました。“何という厚かましきだ！ただ入会できるわけがないだろう。招待が必要だ”、と」とババララ氏は振り返ります。「そこであきらめることもできましたが、私はこう言い返しました。“子どもが親の家に入るのに招待が必要だとは知りませんでした”」
 当時と比べれば良くなったものの、まだ十分ではないとババララ氏。一部のクラブは世界をオープンに受け入れるどころか、閉ざされたままであり、若い人たちが尊重されず、考えや背景が異なる人が歓迎されないこともあると述べ、人びとをよりよく受け入れるにはどうしたらよいかを考えるよう促しました。

「例会や奉仕プロジェクトでの皆さんの態度ひとつで、誰かのロータリーのストーリーが始まる

かもしれないし、終わるかもしれないのです」



課題：一部のクラブは、世界をオープンに受け入れるどころか、今も閉ざされたままです。これでは入会する見込みのある人びとを入会前に失ってしまいます

-
- あなたの行動喚起**
- 1 あなた自身の中の変化を生み出す
好奇心を持ち、問いかける
 - 2 より多くの人を迎え入れる
2030年の会員増強目標を達成する
 - 3 過去の最高の自分を超越する
クラブの最高記録を更新する
 - 4 持続するインパクトを重視する
「成果」の先を見据える

未来は私たちから

自分を変えられれば、クラブと地区を変えられます
 地区を変えられれば、地域社会を変えられます
 そして、地域社会を変えられれば、
 世界で、地域社会で、自分自身の中で、
 持続可能なインパクトを生み出すことができます

ロータリーで人生をより充実させよう

ロータリーに入会した理由は？

なぜロータリアンを続けているの？

ロータリーの目的

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ロータリーの価値

私は、ロータリーの会員であること自体が素晴らしい価値を持ち、さらに多様な奉仕事業やプログラムを通じて、人生をより豊かにできる組織であると確信しています。

ロータリークラブは世界的に「信用」と「信頼」を得ている組織です。

信頼は一朝一夕に得られるものではなく、日々の行動の積み重ねによって築かれます。

私たちは高い倫理観を持ち、地域の方々から「あの人は良い人だ」と思っただけの存在を目指していきたいと考えています。

皆がストーリーテラー

ロータリーには、心を動かす多くの物語があります。そのストーリーを広く伝え、仲間を増やしていきましょう。

そのためには、クラブが活力にあふれ、例会が楽しく、活動が外から見える形で発信されていることが重要です。各クラブの個性豊かな例会や事業

を紹介し、互いに学び合える環境を整えていきます。

世界のロータリアンの多様性

同期ガバナー34名のうち、女性は2名、40代の男性が1名。今回、私は初めて女性ガバナーや若いガバナーと出会いました。

また、国際協議会では、子どもを連れて参加する方や、会社勤めの「ごく普通の人 (regular)」と自称する方など、多様なロータリアンと交流しました。世界は確実に多様化しており、ロータリークラブのあり方も変化していくことでしょう。

多様な価値観を受け入れる寛容さを持ちながら、ロータリアンとしての品格を保ち、より充実したロータリーライフを楽しんでいきましょう。

そのためには、クラブが活力にあふれ、例会が楽しく、活動が外から見える形で発信されていることが重要です。各クラブの個性豊かな例会や事業を紹介し、互いに学び合える環境を整えていきます。ありがとうございました



開会点鐘：栗山正男 三条東 RC 会長



会長挨拶：栗山正男 三条東 RC 会長



卓話：ガバナーエレクト 富山 洋 様
(雪国魚沼 RC)



司会：羽賀一真 三条北 RC 会長



開宴挨拶：渡辺良一 三条 RC 直前会長



乾杯の発声・

次年度ガバナー補佐の紹介：

青柳修次 ガバナー補佐（燕 RC）

2026-27 年度ガバナー補佐挨拶：

長澤敬一 様（加茂 RC）





中締め：木村 譲 三条南 RC 会長